

## 縄文時代集落跡の発掘調査現場を現地公開します！

中央区田名の花ヶ谷戸地区土地区画整理事業（施行者：株式会社エム・レップ）に伴い、株式会社玉川文化財研究所により当麻遺跡第3地点で発掘調査が行われており、縄文時代の竪穴住居跡が50軒ほど発見されるなど、約5,000年前の大規模な集落跡の状況が明らかになってきました。

この度、当該発掘調査の成果を発掘調査現場において現地公開します。調査員が調査状況を解説するとともに、土偶や石棒など出土した資料もご覧いただけます。



カエルのような  
釣手土器の出土状況

- 1 日時 令和4年5月14日(土)  
午前10時～午後3時（全体説明は午前10時及び午後1時）※雨天中止
- 2 場所 当麻遺跡第3地点発掘調査現場  
（中央区田名 国道129号線 塩田原交差点より南へ約200m）
- 3 参加 希望者は直接会場へお越しください（先着500名）  
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください



市内最大の竪穴住居跡（直径9m）



竪穴住居跡から出土する縄文土器



問合せ先

文化財保護課

直通電話 042-769-8371

# 当麻遺跡第3地点

発掘調査現地説明会

▲市内最大の竪穴住居跡



◀石棒

**日時 令和4年5月14日(土)**

午前10時～午後3時 ※雨天中止  
全体説明 午前10時・午後1時

**場所 当麻遺跡第3地点発掘調査現場**

(相模原市中央区田名 国道129号線  
塩田原交差点より南へ約200m)

**参加 希望者は直接会場へお越しください**

- ※人数制限あり(先着500名)
- ※公共交通機関をご利用ください
- ※JR番田駅より徒歩15分
- ※バスの場合 神奈川中央交通バス  
「原当麻駅」から「塩田原」10分  
→徒歩3分



▲カエルのような釣手土器

